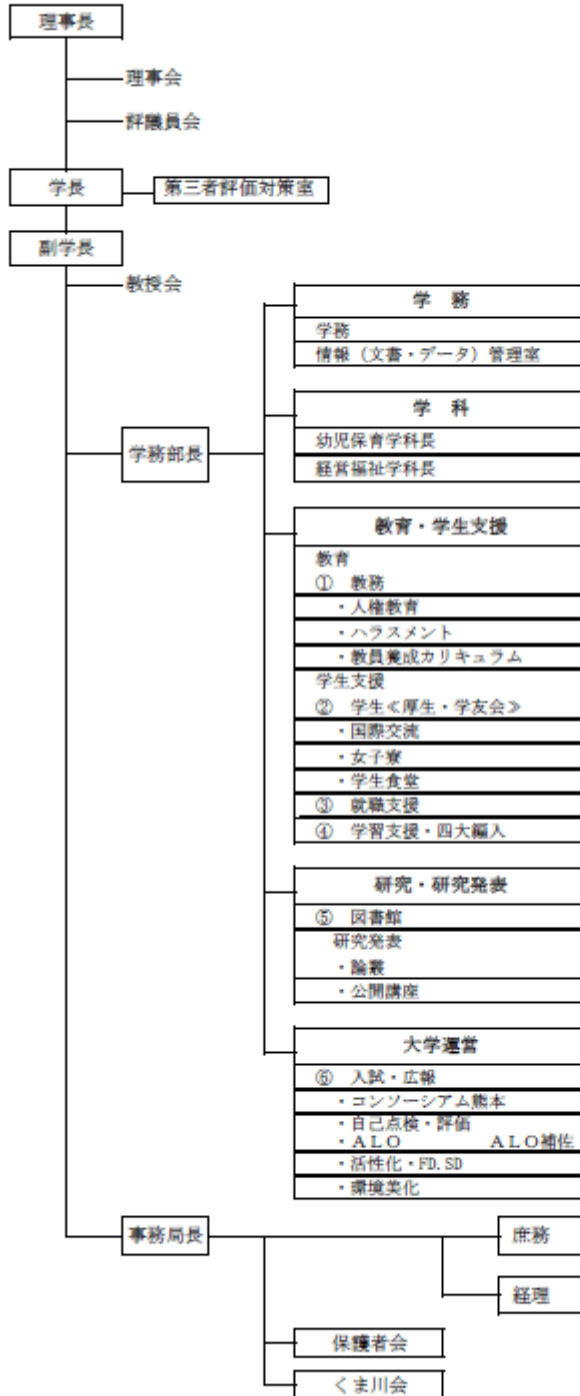


2. 修学上の情報等

(1) 教員組織、各教員が有する学位及び業績

①組織図

平成26年度 中九州短期大学校務分掌



②教員紹介

[経営福祉学科](#)

[幼児保育学科](#)

③専任教員の年齢構成

区分	年齢ごとの専任教員数						平均年齢
	70以上	60～69	50～59	40～49	30～39	29以下	
経営福祉学科	0	5	0	2	1	0	53
幼児保育学科	2	3	1	3	2	1	53
合計	2	8	1	5	3	1	53

④職階別教員数

区分	職階ごとの専任教員数					兼任	計
	教授	准教授	講師	助教	助手		
経営福祉学科	4	1	3	0	0	11	19
幼児保育学科	5	5	1	1	0	13	25
合計	9	6	4	1	0	24	44

⑤専任教員と非常勤講師の比率

区分	専任教員数		非常勤講師		合計	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率
経営福祉学科	8	42%	11	58%	19	100%
幼児保育学科	12	48%	13	52%	25	100%
合計	20	45%	24	55%	44	100%

(2) 入学者に関する受入方針及び学生の状況

①アドミッションポリシー（入学生受入方針）

本学では、建学の精神である「師弟の和熟による人間形成」を実現するために、人間教育を基礎とした個人の持つ可能性の探求と地域社会・文化・産業の発展に向けた有為の人材の育成を目指しています。そのため、次のような人材を求めています。

経営福祉学科

急激な高齢化や高度情報通信化などの社会の変化に対応できる、広い視野と的確な判断力を備えた積極的で意欲のある人材。

幼児保育学科

将来、保育所・幼稚園・社会福祉施設などで活躍したいと考え、保育士資格や幼稚園教諭二種免許の取得を目指す人。

②入学者数の推移、在学者数、収容定員充足率

区分		平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
経営福祉学 科	入学定員 (人)	50	50	50	50	50
	入学者数 (人)	60	46	64	41	57
	入学定員 充足率 (%)	120%	92%	128%	82%	114%
	収容定員 (人)	100	100	100	100	100
	在籍者数 (人)	122	99	110	100	96
	入学定員 充足率 (%)	122%	99%	110%	100%	96%
幼児保育学 科	入学定員 (人)	80	80	80	80	80
	入学者数 (人)	84	78	76	79	80
	入学定員 充足率 (%)	105%	98%	95%	99%	100%
	収容定員 (人)	160	160	160	160	160

	在籍者数 (人)	151	170	156	154	156
	入学定員 充足率 (%)	94%	106%	98%	96%	98%
合計	収容定員 (人)	130	130	130	130	130
	在籍者数 (人)	144	124	140	120	137
	入学定員 充足率 (%)	111%	95%	108%	92%	105%
	収容定員 (人)	260	260	260	260	260
	在籍者数 (人)	273	269	266	254	252
	入学定員 充足率 (%)	105%	103%	102%	98%	97%

③学位授与数 (卒業生数)

区分	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度
経営福祉学科	53	56	51	44	55
幼児保育学科	65	52	82	73	69

④資格取得者数

区分		平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	
経営福祉学科	情報処理士	12	12				
	環境管理士						
	訪問介護員 1 級						
	訪問介護員 2 級	8	6	2	1		
	介護職員初任者研 修						3
	介護福祉士	20	18	26	26	33	
	福祉用具専門相談 員	25	30	31	23	35	

幼児保育学科	保育士	57	51	68	65	65
	幼稚園教諭二種免許	54	47	66	57	64
	初級スポーツ指導員	10	12	24	28	23
	ピアヘルパー	10	16	30	30	29
	チャイルド・マインダー	26				

⑤卒業後の進路（進学及び就職状況）平成25年度進路状況一覧表平成26年3月31日現在

	経営福祉学科			幼児保育学科			合 計		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計
a 卒業者数	35	21	56	10	59	69	45	80	125
b 就職希望者数	28	18	46	9	53	62	37	71	108
c 就職内定者数	23	15	38	9	51	60	32	66	98
就職内定率 (c/b)	82.1%	83.3%	82.6%	100%	96%	97%	86.5%	93.0%	90.7%
d 四年制大学希望者数	3	1	4	0	0	0	3	1	4
e 四年制大学合格者数	3	1	4	0	0	0	3	1	4
f 専攻科希望者数	0	0	0	0	1	1	0	1	1
g 専攻科合格者数	0	0	0	0	1	1	0	1	1
h 専門学校等希望者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0
i 専門学校等合格者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0
j 研 究 生	0	0	0	0	0	0	0	0	0
k 科目等履修生	0	0	0	0	1	1	0	1	1
l 一時的な仕事に就いた者（アルバイト・パート・契約社員等）	1	1	2	0	0	0	1	1	2

m 就職未決定者	4	2	6	0	2	2	4	4	8
n 進学・就職以外の者 (家事手伝い等)	4	2	6	1	4	5	5	6	11
o 進路希望者数 (b+d+f+h+j+k+l)	31	19	50	9	55	64	40	74	114
p 進路決定者数 (c+e+g+i+j+k+l)	27	17	44	9	53	62	36	70	106
進路決定率 (p/o)	87.1%	89.5%	88.0%	100%	96%	97%	90.0%	94.6%	93.0%
進路決定率 (p/a)	77.1%	81.0%	78.6%	90.0%	89.8%	89.9%	80.0%	87.5%	84.8%

⑥前年度の全学生数に対する退学（除籍含む）の人数と割合（中退率）

区分		平成 21 年 度	平成 22 年 度	平成 23 年 度	平成 24 年 度	平成 25 年 度
経営福祉学科	人数	4	8	3	7	4
	割合	3%	7%	3%	6%	4%
幼児保育学科	人数	5	6	7	6	9
	割合	4%	4%	7%	5%	9%

⑦留年者数

区分	平成 22 年 度	平成 23 年 度	平成 24 年 度	平成 25 年 度	平成 26 年 度
経営福祉学科	2	2	0	1	1
幼児保育学科	6	10	4	4	2

⑧社会人学生数

区分	平成 22 年 度	平成 23 年 度	平成 24 年 度	平成 25 年 度	平成 26 年 度
経営福祉学科 (依託学生)	5 (0)	5 (5)	1 (3)	0 (9)	0 (3)
幼児保育学科	14	8	8	2	8

⑨留学生数

区分	平成 22 年 度	平成 23 年 度	平成 24 年 度	平成 25 年 度	平成 26 年 度
経営福祉学科	2	3	3	1	4
幼児保育学科	0	0	0	0	0

⑩進学者数

区分	平成 21 年 度	平成 22 年 度	平成 23 年 度	平成 24 年 度	平成 25 年 度
経営福祉学科	5	2	1	0	4
幼児保育学科	1	1	0	1	1

(3) 授業科目、授業の情報及び内容並びに年間の授業計画

①カリキュラムポリシー

経営福祉学科

- a) 生き抜く力を涵養するため、少人数ゼミ制の科目を設け、学生が自ら考える態度を養えるようにしている。
- b) 基礎学力を重視し、幅広い教養を身につけるための科目を設けている。
- c) 十分な専門知識や技術を習得し、活用する力を身につけるため、実学を重視した実践教育に力を入れている。
- d) 地域社会に貢献できる人材に育つよう、授業の一環として地域交流を行っている。

幼児保育学科

- a) 保育者としての専門性を身につけるため、少人数制を取り入れ、実践を重視したカリキュラム編成にしている。
- b) 社会的常識や幅広い教養を身につけるため、多彩な外部講師を招いている。
- c) 生活の香りのする保育者を育てるため、八代の地域性を活かした地域交流を行っている。

②平成 26 年度学年暦

③シラバス

経営福祉学科	1年	2年
幼児保育学科	1年	2年

(4) 学習の成果に係る評価及び卒業または修了の認定に当たっての基準

①[授業科目一覧表](#) (必修・選択・自由科目別の必要単位修得数)

②取得可能学位

本学を卒業した者には、短期大学士（経営福祉学科は経営福祉学、幼児保育学科は幼児保育学）の学位が授与される。

(5) 学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援

①学内の学生支援組織

[学習支援センター](#)

[就職支援センター](#)

②奨学金に関する情報

学業または課外活動において顕著な実績を残した高校生を対象に奨学生選考試験（入学試験）を実施している。学納金のうちの授業料の減免を行うが、減免率は受験生の成績により異なる。採用人数は若干名。採用期間は原則一年間。

外部奨学金の紹介について

経済的理由のために修学困難な学生を対象に奨学金の紹介を行っている。いずれの奨学金も学生課を通して申込みを受け付ける。

・日本学生支援機構奨学金

第一種奨学金（無利子）…四月受付

月額 30,000 円又は月額 53,000 円(自宅外 60,000 円)。

第二種奨学金（有利子）…四月受付

月額 30,000 円、50,000 円、80,000 円、100,000 円、120,000 円から選択。

緊急奨学金…家計急変等の事由がある場合に限り随時

条件は第一種奨学金に順ずる。

応急奨学金…家計急変等の事由がある場合に限り随時

条件は第一種奨学金に順ずる。

- ・熊本県育英資金奨学金…四月受付

月額 35,000 円。主たる生計支持者が熊本県内在中

- ・宮崎県育英資金奨学金…四月受付

月額 52,000 円(自宅外 59,000 円)。主たる生計支持者が宮崎県内在中

- ・壽崎育英財団奨学金…四月受付

月額 10,000 円の一年間給付。主たる生計支持者が九州内在中

- ・鶴友奨学会奨学金…四月受付

月額 30,000 円。主たる生計支持者が熊本県内在中

- ・その他

あしなが育英会、交通遺児育英会などの奨学金のほか介護福祉士等修学資金などの貸付の紹介も行っている。

(6) 教育上の目的に応じ学生が修得すべき知識及び能力に関する情報

①ディプロマポリシー

経営福祉学科

- 多様化した社会での「生活力」を身につける。
- 正しい職業倫理観と経営感覚を身につける。
- 基礎学力と専門知識及び技術を習得し実践力を身につける。
- 職業人として最も基本となる人間性を育み、地域の活性化に貢献できる力を身につける。

幼児保育学科

- 理論と実践の融合を図り、保育者としての専門性を身につける。
- 社会的な常識や、幅広い教養を身につける。
- 時代にあった生活感を身につける。

②履修モデル [履修の規則及び履修方法](#)

経営福祉学科

介護福祉士コースと経営情報コースの2つのコースがあるが、介護福祉士コースは資格取得のため、ほぼすべての科目が資格必修科目となっている。経営情報コースは、会計を中心に学び税理士受験資格を得られる履修モデル、情報技術を中心に学び情報処理

技術者を目指す履修モデル、四年制大学への編入を目指す履修モデルを用意している。

幼児保育学科

幼児保育学科も経営福祉学科の介護福祉士コース同様に、ほとんどの科目が資格必修科目となっているが、保育実践力を身につける保育総合コースの履修モデルと子供の心自分の心いろいろな形の心理を学ぶ子供心理コースの履修モデルがある。

③主要科目の特徴

経営福祉学科

ライフプランニングⅠ

ワークやディスカッション等を通して、将来より良い人生を送るための生き方や社会との関わり方等を自ら考え構築する。

ライフプランニングⅡ

自分らしい生き方を実現するためのキャリアプランニングを行う。卒業後の進路についてはもちろんのこと、人としての生き方にとって必要な行動目標を明確にしていく。

幼児保育学科

キャリアスタディⅠ

本演習では、保育者に必要な素質を身につける事を目指します。例えば、「大学での学び方」や「日本語の文章の作成技術」では自ら課題を探し、考えて表現する方法を学びます。「ボランティア講座」では、外部講師の指導の下、点字や手話などを実際に体験して学びます。また、「保健・就職講話」では、各分野でご活躍の外部講師をお招きして、最新トピックスについてお話していただきます。このように様々な演習を通して保育者としての資質を養い、将来への展望を拓くことができます。

④科目ごとの目標

シラバスを参照してください。

(7) 国際交流・社会貢献等の概要

①協定相手校

協定相手校はありません。

② [社会貢献活動](#)

③ 大学間連携・高大連携

高大連携事業

地域の高等学校定時制との連携教育で、協定を締結し、希望者を科目等履修生として受け入れ単位取得が可能となる。さらに本学に進学した際には、既修得科目は単位認定する。

【受け入れ状況】

◆ 八代東高等学校定時制(平成 21 年 2 月:協定締結)

平成 21 年 4 月～平成 22 年 3 月迄受入れ(八代東高等学校定時制と八代工業高等学校定時制統合のため)

対象者学年	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度
2 年次	0	4	0
3 年次	4	0	5
合計	4	4	5

◆ 八代工業高等学校定時制(平成 23 年 2 月:協定締結)

平成 23 年 4 月より受入れ

対象者学年	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
2 年次	2	4	2	2
3 年次	0	1	1	0
合計	2	5	3	2

大学間連携

[大学コンソーシアム熊本](#)

熊本県内にある大学・高専等(14校)が協力して、地域社会の教育・文化の向上・発展に貢献し、熊本の教育環境の向上に寄与することを目的としています。

④ 産官学連携

現在のところありません。